

# かわぐち

2006. 1月号 No.387

— 今月の主な内容 —

- 年頭のごあいさつ……………2
- 震災復旧進捗状況のお知らせほか……3
- 今年は成年です……………4～5
- フォトコンテスト入賞作品決定ほか……6～7
- みんなで考えよう老人医療費……………8
- 国保からのお知らせほか……………9

— ほか —

あけまして  
おめでとうございます  
復興に向けた新たな希望の年に

**川口町町民憲章** 平成14年4月制定

大河信濃川と清流魚野川の出会う緑豊かな私たちの川口町。  
この町に住むことに喜びと誇りを持ち  
確かな明日へとつなぎつづけるための道しるべとして  
この憲章を定めます。

- 一、豊かな自然と共生し、心やすらぐ町に
- 一、出会いと交流を大切に、人情あふれる町に
  - 一、働く喜びに満ち健康で、うるおいのある町に
  - 一、風土、歴史、文化に誇りと自信を持ち、夢のある町に
  - 一、互いに学び高めあう、希望のある町に

**中越大震災川口町復興標語**

元気出せ 力を合わせて復興だ  
大地震 地域のきずなに大きな自信  
広げよう 夢と希望の川口町  
忘れるな災害の怖さ 持ちつづけよう防災の心

元気です！かわぐちっこ ⑩

きょうへい  
中林 京平ちゃん (貝ノ沢・2歳)  
おとうさん おかあさん  
和夫さん 優子さん



電車が好きな京平くん、実際に走る電車を見るととても喜びます。家では新幹線のプラレールを走らせて遊んだりもします。いなりずしが大好きで何個でも食べてしまいます。お父さんと牛舎まで散歩して、牛を見ることが楽しみな京平くんでした。

俳句

大内迪子先生選 公民館句会 (平成17年11月)

特選句  
○魚野川避難広場の草紅葉  
○秋の土堤しばし旅人のごとくをり  
○崩落の山ふところにななかまど  
○紅の菊しつかと抱いて立話  
○鴉の舞ひしむかしの空に鱗雲  
被災地に紅葉の季節巡り来る  
復興の町の大根よく育ち  
末枯るる河原に並ぶテトラポット  
秋雨の晴間にのぞく星久し  
今日こそは明るきうちに大根煮て  
並び建つ仮設住宅秋の雨  
子等の眸のかがやく復興秋まつり  
秋晴や地球に生きし不思議かな  
柿熟れて被災の家のすでに無し  
柿たわわ「SL」煙なびかせて  
句碑の道辿れば野菊そこ此処に  
待つ人を隠していまふ芒原

丸山好枝 柳町火音 渡辺登子 上村たつお 佐藤信 保坂杉子 新宮山紫 岡村和子 目黒せつ 五十嵐美代子 藤田節子 村山むら女 鈴木良仙 山田チヨ 石坂シゲ 三輪京子 並木桂子

■次会のお知らせ  
1月7日(土)生涯学習センター 13時



# 災害の復旧はどれくらい進んだの

## 災害復旧工事の進捗情報のお知らせ

町では震災発生から早期の復旧を目指して、工事等を進めてきました。下記のグラフのとおり災害復旧工事は順調に進んでおります。しかし19年ぶりの豪雪や水害により、被害が拡大し工事が遅れているケースもあります。

これからも復旧工事に関しては全力で取り組んでいきますので、町民の皆さんのご理解とご協力をお願いします。

災害復旧工事の進捗状況をお知らせします。

### 災害復旧工事の進捗状況 (地震、水害等含む) (平成17年12月25日現在)



## 年頭のごあいさつ

# 困難に立ち向かう強い意志をもって

## 「みんなで作ろう川口町」

川口町長 岡村 讓



あけましておめでとうございます。2006年の年頭にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

町民の皆様におかれましては、震災による生活再建や住宅再建で苦勞され、さらには12月上旬から思いもよらぬ大雪に見舞われるなど、普段にもましてあわただしい1年であったことと思います。私はこのたびの選挙で多くの皆様のご支持をいただき、町長とい

う大役を任せられ、12月25日に就任いたしました。今はその重責に身の引き締まる思いであります。今回の選挙を通じて私が訴えてきたことは、まず、町民全員が震災前の生活に一日も早く戻るよう、速やかな復旧、復興を確かなものにするのであります。そのために町民の皆様の積極的な参加をいただきながら「まちづくり」を進めて行かなければならないと考えております。したがって、皆様の「声」を聴く機会を多く設けていきたいと思いますので、皆様の参加をお願いいたします。

次に「市町村合併」問題であります。震災により町の財政が逼迫していることや、国策である行政改革を背景に「川口町」をどう考えていくのか、今一度町民の皆様とともに考え、研究を進めた上で、町民の皆様の合意を得て進めてまいります。

さらには、一刻も早い町政不信の一扫と、皆様から信頼される役場行政を取り戻すことにあります。町職員の意識改革を進め、行政の透明化を図るとともに、説明責任を果たしていきたいと思っております。

また、特色ある教育、次代を見据えた福祉施策を進めるとともに多くの人が訪れる「川口温泉」、「あぐりの里」を活用した商・農が連携した経済基盤の確立を目指してまいります。

「みんなで作ろう川口町」が私の行政理念であり、皆様とともに川口町に住むことの価値やそのこだわりを創るため、鋭意努力してまいります。

震災は私たちの心に大きな試練を与えました。しかし、いつまでもその感傷に浸っているわけにはいきません。大きな希望をもち困難に立ち向かう強い意志をもって本年を迎えましょう。

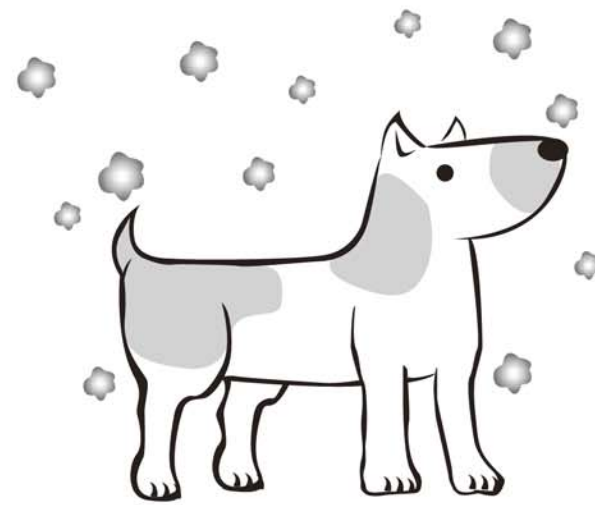
最後になりましたが、本年が皆様にとって健康で幸多き年でありますよう心からご祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



# 2006 今年は成年

## ～新年の抱負紹介～

新年あけましておめでとうございます。  
 昨年は、19年ぶりの豪雪や水害で被災しながらも、町民が力を合わせて震災からの復興に向け、がんばった1年でした。  
 新しい年を迎えて今年に寄せる思いは人それぞれにあると思います。これらの思いを新年の抱負として今年の干支である成年を迎えられた6人の方から語っていただきました。



### 平成6年生まれ

渡辺 一機さん

(荒屋)



次の4月には中学生になります。その前にやっておきたいことがあります。それは、今までに習った勉強

の復習です。新しい勉強が始まったときに、これまでの内容が身に付いていないとついていけなくなると思うからです。今は自主学習の時間を増やす努力をしています。自分の生活を見直して学習時間を大切にしていきたいと思っています。  
 中学校でがんばりたいことは部活と英語です。部活では実力をつけて、大きな大会で活躍できるようにになりたいです。英語に興味があるので、今のうちから英語と仲良くなれるようにしたいと思っています。

### 平成6年生まれ

大淵 芹香さん

(山ノ相川団地)



私は中学校進学に向けて直したいことやりたいと思っていることがあります。

で、先生に追いつけるくらいになるようがんばりたいです。  
 二つ目は、授業に集中することです。違うことに気をとられてしまうことがあるので、話を聞く集中力を高めたいと思います。  
 三つ目は、苦手な算数を克服することです。中でも小数が苦手です。中学校に進む前にしっかりと復習をして自信がもてるようになりたいです。  
 中学生になったらやりたい部活があります。それは吹奏楽部です。いろいろな楽器でたくさん曲を演奏してみたいと思うからです。中でもフルートとパーカッションに興味があります。今から楽しみにしています。

### 昭和57年生まれ

廣井 孝さん

(相川1)



一昨年前の震災、昨年の雪害、祖父の死去など近年は様々なことがありました。災難が続くことで気持ちが折れそうになる時

もありました。しかし、そんな中で支えてくれる人たちがたくさんいることに気付きました。家族、友人、地域の方々、ボランティアの方々...  
 今年は、私を支えてくれた方々に少しずつ恩返しをしていきたいです。そして、そんな方々と一緒に笑顔で過ごせる一年になればと思っています。

### 昭和33年生まれ

森山 勝也さん

(貝ノ沢)



光陰矢の如しと言う様に、貝ノ沢に来て14年目になりました。

5人暮らしです。つたもんだの毎日を送っています。  
 仕事の方も、中越地震での会社の復興も終わり、大変忙しく残業の毎日です。  
 健康面においては、以前煩った腎結石が気がかりなので、家族みんなのために、健康第一を考え、中越地震の前まで続けていたトレーニングルーム通いをまた始めたいと思っています。そして、自分自身の気持ちの若さを保つために、自分の好きな映画鑑賞やバイクでのツーリングなど感動を求めてチャレンジする成年にしていきたいと思っています。

### 昭和45年生まれ

石坂 由紀さん

(小高)



新たな年を迎えられることに感謝いたします。

毎日単調な生活が過ぎて行く中、振り返るとその毎日があり

がたいことだと考えさせられます。  
 今年は、地震により、人生最大の仕事ともいえる家を新築する予定です。そんな面でも今年がさらにはがんばらなければならぬと思っています。さらにまだ復興にむけていろんな問題が残っています。みんな力で力を合せて解決していきたいです。

### 昭和21年生まれ

小宮山 和子さん

(原新田)



川口町に嫁いで早37年が過ぎ、現在は農業を手伝いながら介護関係のお仕事をさせていただいております。

あの中越地震以後、その傷あつと深く、復旧、復興に向け頑張っているところですが、気持ちの方はもう一歩です。しかし友人との会話や日頃お年寄りの対話の中で喜ぶ笑顔や元気の言葉を聞き私も手伝いして、「よかったな」と感謝している次第です。  
 これからは主人と二人で農業の合間を見て山や温泉に行つて健康に過ごせたら最高です。

えちごかわぐち物語 '06 冬  
**雪洞火ぼたる祭**  
 -雪灯りが創出する幻想の世界-  
**2月11日(土)、12日(日)開催**

昨年、震災の影響により中止となった「雪洞火ぼたる祭」を平成18年2月11日(土)、12日(日)の両日開催します。(詳しい日程・行事内容は後日お知らせします。)

**実行委員会委員を募集します**

私たちの町が持っている資源を最大限活用した、冬の祭典「雪洞火ぼたる祭」。この幻想的な祭りをみなさんのアイデアと行動力で演出してみませんか。

やってみたいこと、みんなで楽しめること、ぜひ、あなたの意見をお聞かせください。年齢・性別・職業など問いません。多数の方の参加をお待ちしておりますので、お気軽に申し込みください。

応募期限 平成18年1月10日(火)

問い合わせ 企画商工課

☎89-3112



今回の審査をさせていただき感じたことは応募していただいた方々が皆、川口町の日でも早い復興を願う作品が多かったことです。どの作品も賞にと思いがけらの審査でした。残念ながら選外になった作品もありますが、貴重な写真も数多くあり、何かの機



山田昌男 談

**川口町フォトコンテスト総評**

講評：花火の美しさを多重撮影で表現した、見ごたえのある作品です。技術的には上部の花火の色と線の細さと絞りを考えて、下部に人物を配して手筒花火師を入れ、全体のバランスを考え計算された構図になっています。作者の感性を評価します。



最優秀賞 「夢高く」 平原正幸さん(長岡市)

復興に向かってがんばる人々の笑顔や心に残る美しい自然、震災の記録をテーマに作品を募集した「第8回川口町フォトコンテスト」。震災前の風景や貴重な震災の記録写真など計150点にも及ぶ応募があり、審査員の山田昌男さん(日本写真家協会会員)と星野前町長による厳正な審査の結果、最優秀賞は平原正幸さん(長岡市)の「夢高く」に決定しました。入賞者及び入賞作品を紹介します。

※作品の講評は山田昌男さんによるものです。

美しい自然、震災の記録などを後世に  
**第8回フォトコンテスト入賞作品決定**



審査の様子

会に発表されることを願うものです。また一日も早く川口町が復興され、元の元気ある町になることを願っています。

**入賞者(敬称略)**

- ▼最優秀賞  
 「夢高く」平原正幸(長岡市)
- ▼町長賞  
 「一休み」桜井信夫(魚沼市)
- ▼復興祈念賞  
 「ネバーギブアップ」小林勝次(長岡市)
- ▼いきいき笑顔賞  
 「元気・勇気・やる気」桑原秀一(長岡市)
- ▼こころの一枚賞  
 「休息での語らい」堀澤昇司(川口二)
- ▼富士フィルム賞  
 「夫婦ア、ウんの呼吸」外山和子(魚沼市)
- ▼フジカラー賞  
 「夜明け」高橋利夫(群馬県)
- ▼新潟日報社賞  
 「2005年春ふたたび」桜井博之(魚沼市)
- ▼木沢のEve  
 井上宗昭(南魚沼市)
- ▼水鏡  
 山田則夫(南魚沼市)
- ▼復興祈念手筒花火  
 山本昭七(長岡市)
- ▼今年もがんばる女みこし  
 福崎均(十日町市)
- ▼峠の朝  
 五十嵐春男(長岡市)
- ▼復興に願いを込めて  
 仲淳(小千谷市)
- ▼神様の住処(スミカ)も…  
 菊地和好(魚沼市)



復興祈念賞「ネバーギブアップ」小林勝次さん(長岡市)

講評…夜景撮影の難しい被写体をこれほど上手に撮影できるのは、場所、露出、シャッタースピード、フィルムなどよほど考えていると思います。技術の高さを評価します。川口町復興の祈りが写されています。



こころの一枚賞「休息での語らい」堀澤昇司さん(川口1)

講評…暖を取り合う二人、これからどうなる、そんなことを考えさせられる写真です。三個のヤカンと人物の配置、作者が何を伝えたいのか良くわかる写真です。写真から声が聞こえてくるようです。



町長賞「一休み」桜井信夫さん(魚沼市)

講評…パス(遠近感)をうまく使い人物の存在感を巧みに表現しています。それと手の動きを入れて情景描写もみごとです。町長賞にふさわしい傑作です。



いきいき笑顔賞「元気・勇気・やる気」桑原秀一さん(長岡市)

講評…川口町の女みこしは、大変に有名でカメラマンの中では一度は撮影したい被写体です。またそれだけ競争相手がいいます。その中で笑顔の美しい表情を的確にとらえた力作です。

# みんなでおきてよる老人医療費

## 医療費の節減にご協力を

老人保健制度は、高齢者（75歳以上の人と65歳以上で障害のある人）が医療を受けたときの負担を軽くして、安心して医療を受けられるようにするための制度です。

高齢者の医療費自己負担は1割（一定以上の所得者は2割）ですが、残りは国民が負担する「公費」でそれぞれまかなっています。「公費」は皆さんが納めた税金などが充てられています。

### 町の一人あたり 老人医療費は

当町の老人医療費（平成14年）の状況は、入院で県平均を上回っています（表1）。入院外も県平均をやや上回り、前年とほぼ同額で横ばいです（表2）。現在、平成14年10月の制度改正（対象年齢を70歳以上から75歳以上に引上げ）により老人保健で医療を受けられる人の増加は抑えられましたが、教年後には再び高齢者の人数も増加し、老人医療費も増加する見込みです。

### 老人医療費増加の原因

高齢者の医療費は、高血圧症や糖尿病などの生活習慣病や、治療に長い期間を要する慢性疾患の方が増加していること、また医学・医療技術の進歩により新しい機器や薬などが開発され、これまで治療



することが難しかった病気も治すことができるようになった反面、治療に要するコストが増加していること、さらに何度も病院を替えて受診（重複受診）して費用のかさむ医療の受け方をすることなどが、医療費を増加させている主な原因です。

### 老人医療費を大切に使う ためにできること

○同じ病気で複数のお医者さんにかかっていますか  
一つの病気で複数のお医者さんにかかることを重複受診といいます。お医者さんを変えると、初診から始まるので再び初診料がかかります。同じような検査、薬をもらったり、本来は必要のないはずの医療費がかかります。  
また、検査や投薬の繰り返しは体にもよくありません。お医者さんを信頼し、指示を守りましょう。  
○かかりつけのお医者さんをお持ちですか  
「かかりつけ医」を決めておくと、体調が悪いときは家

表1

一人当たり老人診療費（入院）の推移（単位：円）

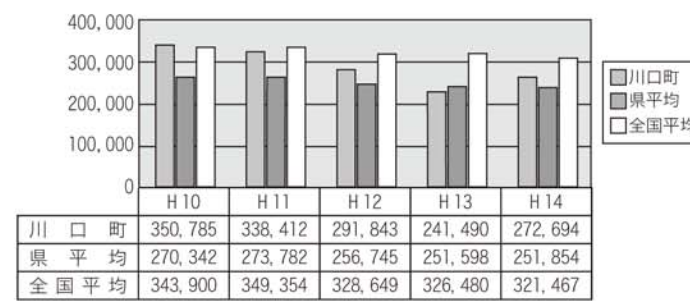
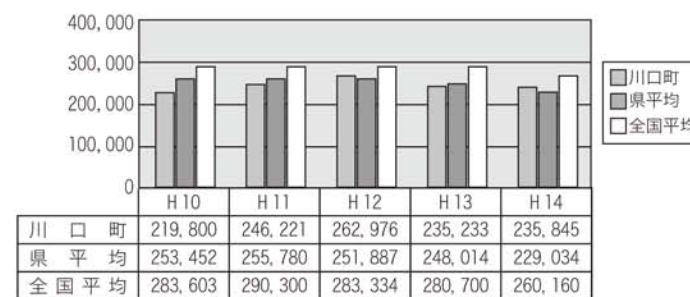


表2

一人当たり老人診療費（入院外）の推移（単位：円）



## 国民健康保険からのお知らせ

### こんなとき 国保の給付が制限されます

交通事故や他人の飼犬に咬まれたなど第三者の行為によって受けたけがの医療費は、原則として加害者が全額負担しなければなりません。しかし、その賠償が遅れるときなどは、一時的に国民健康保険で治療を受けることができます。この場合、被害者に代わって後日、国民健康保険が加害者に請求することになりますので、必ず生活福祉課窓口まで届出をしましょう。

### 非課税世帯の入院時の 食事代を負担します

入院したときの食事代は、通常1日当たり780円かかりますが、次の対象者に限り国民健康保険が費用の一部を負担しますので、生活福祉課窓口で申請してください。  
○入院時の食事代（1日当たり）  
▽住民税非課税世帯又は70歳以上で低所得Ⅱ  
・90日までの入院 650円  
・90日を超える入院 500円  
▽70歳以上で低所得Ⅰ 300円

この他にも、次のような場合は全額自己負担になります。  
○病気とみなされないもの  
（健康診断、予防注射、正常な分娩、歯列矯正、美容整形など）  
○業務上のけがや病気  
これは雇用主が負担すべきものなので労災保険の対象になります。  
○故意の犯罪行為など

※低所得Ⅰは、世帯全員が町民税非課税で各所得から必要経費等を差し引いて0円又はマイナスになる人  
※低所得Ⅱは、世帯全員が町民税非課税で各所得から必要経費等を差し引いて1円以上になる人  
問い合わせ 生活福祉課  
☎89-4418

## 「私たちの献血」キャンペーンを実施

今後、少子高齢化などにより血液の需要が増加する一方で、献血者層の人口が減少し、献血者の確保が困難となり、必要とされる血液が不足することが懸念されています。  
特に冬期間は献血者数が減少する季節です。この期間の献血にご協力いただくために、毎年1月1日から2月28日までの間、全国一斉に「は

私たちの献血」キャンペーンを実施しています。  
献血は皆様の善意に支えられています。一人でも多くの方から献血にご協力をお願いいたします。ご協力いただける方は、長岡市にある喜多町献血ルームをご利用ください。  
また企業・グループなどである程度まとまった人数での献血希望がある場合、生活福祉課（☎89-2359）までご相談ください。  
なお、10月7日には、東芝照明プレジジョン川口工場敷



地内にて、献血が行われ、同社の多数の社員の皆様から献血にご協力いただきました。

## よろず健康相談を開催

よろず健康相談を次の日程により開催します。体脂肪・血圧のチェックや健康料理の試食、家庭でできる運動など健康に関する内容が盛りだくさんです。皆さんお誘い合わせて、お越しください。  
問い合わせ 生活福祉課（末広荘）☎89-2359

日	時間	場所
1月19日(木)	9:00~12:00	末広荘
1月26日(木)	9:00~12:00	生涯学習センター(和南津地区対象)
2月9日(木)	9:00~12:00	西川口集落開発センター
2月16日(木)	9:00~12:00	岡平仮設集会所
2月23日(木)	9:00~12:00	相川サンウッド
3月9日(木)	9:00~12:00	木沢会館よろみ

## 心の健康相談を開催

部屋に閉じこもりぎみ、暴力に困っている、ノイローゼぎみ、無気力など…。お悩みの方はぜひご相談ください。（完全予約制ですので、安心してご相談できます）  
日時 平成18年2月14日（火）13時30分~15時受付  
会場 末広荘  
内容 医師による個別相談。家族の相談も受け付けます。※秘密は固く守られます。  
担当医 ほんだ病院 中島先生  
申込期限 平成18年2月3日（金）  
問い合わせ 生活福祉課（末広荘）☎89-2359

### 公用車を売却します



このたび公用車を売却することになりました。売却方法は競売により行いますので、最高価格を提示した方にお譲りします。  
希望の方は総務課にお申し込みください。  
競売する公用車  
トヨタ マジェスタ H16年式  
募集期間  
平成18年1月31日(火)まで  
問い合わせ 総務課 ☎89-3111



歴史民俗資料館内

現在、アスベストによる健康被害がテレビや新聞等で報道され、アスベストに対する社会不安が広がっています。

### 歴史民俗資料館(町民文化会館内) アスベスト対策工事のため使用中止に

町では町関連の全施設の調査を実施しました。この調査の結果、歴史民俗資料館(町民文化会館内)の一部からアスベストの検出が確認されました。  
このため、アスベスト対策工事を実施していますので、平成18年3月まで歴史民俗資料館の使用を中止します。  
問い合わせ 総務課  
☎89-3111

### 町職員人事異動のお知らせ

12月26日付けで町職員の人事異動がありましたので、お知らせします。カッコ内は前職。  
総務課長  
鈴木 政幸(税務会計課長)  
議会事務局指定参事  
桜井 誠一(農村振興課指定参事)  
農村振興課参事  
山田 功(公園施設管理センター長)  
税務会計課長  
関 武司(議会事務局長)  
農村振興課指定課長補佐  
阿部 恒雄(農村振興課課長補佐)

### 国勢調査速報値のお知らせ

一 要計表による集計結果一  
新潟県の発表による人口及び世帯数は下記のとおりです。なお、この数値は速報値ですので、変わることがあります。カッコ内は平成12年調査からの増減数。  
川口町人口 5,233人(-515人)  
世帯数 1,439世帯(-83世帯)  
※要計表とは、調査員が調査の際に把握した担当地域内の男女別人口及び世帯数を取りまとめたものです。  
☎83-2093

**農業所得収支内訳書の  
記帳相談を実施します**  
平成17年分確定申告から農業所得を収支計算で申告しなければならぬ方、平成17年分農業所得から収支計算により申告しようとする方などを対象に記帳相談を実施します。  
日時 平成18年1月24日(火)  
9時30分～15時30分  
会場 川口町農協3階会議室  
対象者 平成16年分農業収入が200万円以上の方や平成17年分農業所得を収支計算により申告する予定の方  
持参するもの  
・農業に係る平成17年分収支が確認できるもの(出入金が確認できる書類・領収書等)  
・収支が記帳された帳簿  
・筆記用具、電卓等

**雑損控除税務相談会を  
開催します**  
被災した住宅などの修繕等をし、代金を支払った方で一定の要件に該当する方は、所得税の軽減措置(雑損控除)の適用を受けられる場合があります。小千谷税務署では、雑損控除についての税務相談会を開催します。  
日時 平成18年1月30日(月)、31日(火)  
両日共 9時30分～12時  
13時～15時30分  
会場 生涯学習センター  
持参するもの  
・修理費用で支出した領収書等  
・平成16年分所得税(昨年)の確定申告書(控え)  
・筆記用具、電卓等

**平成17年分所得税の確定申告書(税務署から送付された方に限ります)**  
・平成17年分所得税の確定申告書(税務署から送付された方に限ります)  
・還付申告書を提出される方は次の書類も持ちください。  
・平成17年分給与所得や公的年金等の源泉徴収票(原本)  
・印鑑  
・還付金振込先の口座番号(申告者名義の口座番号に限ります)  
・医療費控除を受ける場合は、医療費等の領収書  
・源泉徴収票に記載されていない社会保険、生命保険、損害保険料の控除証明書(領収書)  
問い合わせ 小千谷税務署 人課税第一部門  
☎83-2093

### 子どもたちにぬいぐるみの クリスマスプレゼント

ビルド・ア・ペア・ワークショップの皆さんから、「ほっぺの光る雪だるまのフロスティ」のぬいぐるみが保育園児、小学校児童に贈られました。  
同社は、昨年もかわいい「くま」や「いぬ」のぬいぐるみを作るイベントを開催し、子どもたちを元気づけてくれました。  
川口小学校では12月20日の児童会行事「サンタ・トナカイ集会」、東・西川口両保育園では12月21日に行われた「クリスマス会」でそれぞれサンタクロースから児童、園児全員に「フロスティ」のぬいぐるみがプレゼントされました。子どもたちはほっぺが光るやわらかいフロスティを笑顔いっぱい抱きしめていました。  
なお保育園のクリスマス会では毎年、網久松さん(川口2)から園児たちにお菓子がプレゼントされています。



12月10日、交流体験館「杜のかたらい」で杜のフェスタ2005ギターコンサートが開催され、町内外から大勢の観客が訪れ、演奏を楽しみました。  
このコンサートは、平成16年に開催予定でしたが、地震により中止になりました。今回出演者の方々から「ぜひ、被災した町民の皆さんを励ましてほしい」という要望があり、実現したものです。

当日は長岡市在住の島山徳雄さんと長岡ギター愛好会の皆さん、東京からニューサウンズギタークラブの皆さんなどが出演。また、日本ギター界の第一人者である庄村清志さんがギターの名曲を披露しました。来場者はギターの洗練された深い響きと透き通った音色、華麗な指さばきに魅了されていました。

### 洗練された音色が会場を 杜のフェスタ2005 ギターコンサート開催

### 生涯学習を考える これからの生涯学習に 求められるもの



金子 武(川口4)

「人は美しく老いたい」、「死ぬときはポックリいきたい」と願うが、そう簡単なことではない。かつて故有吉佐和子さんの「恍惚の人」は世の人々を震撼させた。介護地獄が私たちのすぐそばに在ることを示した。しかし今までは人間がそれほど悲惨な老後をおくはずがないと思っている人が多かった。  
超高齢社会を迎え、学校教育や家庭教育において、さまざまな問題を抱えている現在ほど、生涯学習の必要性を感じるのではないか。  
「生きている」と、「生きていく」ということを、切実に考えさせられる世の中である。「生きていく」ということになれば、人生を歩む価値はつきりつかまえない。

ばならない。これが生涯学習の原点であると認識している。人は誰でも、潜在能力を持っているもの、ところが多くの人はその可能性に気が付かないでいる。自分自身のたどってきた足跡はその人生が終わるまでに掘り起こさなければならぬ。それぞれの異なった分野で培った苦労から身につけた知識、その生きた学問は、その人の思慮を深くし、積み重ねた不変の年輪は、今の社会で求められている貴重な教材である。  
現在町で開講している「かわぐち学びの里大学」等で広く生かさなければならぬ。こういう場所こそ、お互いの生きざまを語り合って、生きた教育になるのではないか。  
今日、生涯学習に広く提供する機関が増えたことは大変良いことだと思っている。  
現代社会全体が、経験豊富な人々の能力を生かすシステムを構築することが望まれる。そのことが、社会が年寄りという考え方を直し、人間関係の絆を深め、学ぶ喜びを味わうことが、生涯学習の究極の目的であると信じている。

和南津地区でそばまつり

### ボランティア

オールとちぎ

### と交流

12月11日、和南津農村公園仮設集会所で和南津地区と災害ボランティア「オールとちぎ」の主催により和南津そばまつりが行われました。

和南津地区では「オールとちぎ」と協力して「そば炊きオーナー制度」を実施しており、震災で被害を受け、作付けできなかった田んぼ2ヘクタールに、同地区の農家とそば炊きのオーナーの皆さんがそばの種をまき、10月にそばの実を収穫しました。



今回のまつりはこのそば粉を使って打ったそばを、地区の皆さんに振る舞い、復興への活力としてもらうとともに、オーナーらとの交流を深めてもらうために行われました。

当日、会場には入れ替わり、多くの地区住民が訪れ、茹でたての山菜そばやざるそば、栃木の焼きだて餃子に舌鼓を打ち、「オールとちぎ」の皆さんたちと楽しく語りました。

「そば炊きオーナー制度」は都市部などに住む人たちがオーナーとなり、数回現地を訪れ、農業体験などを楽しみながら学び、地元住民と交流するものです。

和南津地区ではこの制度で都市部との交流を進め、復興、町おこしに繋がればと期待しています。



当日は、全戸から各々持ち寄った野菜などの食材を使ったけんちん汁や鯉こく、地元のそば粉を使って打ったそば、餅つきなど全員

12月11日、旧木沢小学校体育館で第4回の木沢地区「寄り合いっこ祭」が地域住民や震災当時支援に携わったボランティアら約100人が集まり盛大に行われました。

寄り合いっこ祭は、平成12年に地域の元気づくりを目指し全戸が参加する行事として始まったもので、一時中断をしていましたが震災からの復興とボランティアの皆さんに感謝をしたいと今回の開催となったものです。

復興祈念と支援に感謝して

### 木沢地区で寄り合いっこ祭



参加で準備を行い、できあがった手づくりの味を存分に楽しんでいました。

また、途中アトラクションとして、秀和会の皆さんによる踊りや川口民謡同好会による民謡など多彩な芸能披露もあり祭を盛り上げていました。

地区総代の星野秀雄さんは「当時支援いただいたボランティアの皆さんをお迎えし、地区住民が総参加の寄り合いっこ祭を盛大に行うことができ大変よかった。今回の祭りが、これからの木沢地区の復旧や復興の弾みになればと思います」とこやかに話していました。

## 中心市街地の活性化に向けて

### 東川口震災復興委員会が部会活動を開始

東川口震災復興委員会（委員長・古田島友一郎東川口町会長）では、昨年10月に策定された震災復興計画の重点プロジェクトの一つである「活気あるタウンコアゾーンの形成」の具体的な事業化に向けた検討組織を設置しました。

これは、シンボルロード（越後川口駅～国道17号）沿道の活性化を検討する「拠点施設形成部会」、道路整備を検討する「生活道路部会」、水路や克雪施設を検討する「克雪等対策部会」、公園や防犯灯などの住環境を検討する「住環境形成部会」の4つの部会で構成され、東川口地区の新たなまちづくりに向けて地域住民と行政、関係機関等の連携により個別事業の具体的な検討を進めていくもので、12月上旬から各部会の活動を開始しました。

第1回目は、部会を進めるにあたってのルールづくりや震災復興計画での位置付けを確認の後、各部会の役割や今後の作業の流れについて話し合いを行いました。今後各部会では、課題や問題点の洗



▲住環境形成部会の様子

い出し、他町村の事例を学習しながら、今年3月を目標に東川口にふさわしい施設や設備、機能、地域の取り組みについて提案を行っていく予定です。

東川口地区では地区住民の意見を取り入れていくため、これらの活動状況を地区広報誌「かわらばん（仮称）」を通じてお知らせし、意見を求めていくこととしています。

## 除雪ボランティア

### 「遊雪隊」活動開始

12月18日、町民有志による除雪ボランティア「遊雪隊（ゆうせつたい）」が木沢地区で活動を開始しました。

「遊雪隊」は平成11年に設立、今年で7年目を迎え、現在37人の隊員で組織されています。今年も遊雪隊の防寒着を新調し、初のお披露目となりました。

この日は隊員8人が参加し、木沢地区1棟の雪降ろしを行いました。12月としては稀な大寒波で雪はさらさらの粉雪、まだ屋根の下雪が固まっていけないので、隊員は滑らないように慎重に雪降ろしを進めました。

大人数で雪降ろしをするので作業は30分ほどで終了しました。

「遊雪隊」では毎年、雪降ろしを行うにあたって、民生委員や社会福祉協議会と連携し除雪世帯の選定を行っており、選定には経済状態、子どもや親戚が除雪できるかどうかなど、様々な条件を勘案して決定しています。その結果、今年も4世帯の除雪を行うことに



▲木沢での雪降ろし活動

なりました。

隊員は会社員が多いため、日曜日の活動が主体です。昨年の大雪を踏まえ、週1回の活動では間に合わないことが多く、現在、平日に除雪活動を行えるメンバーの確保が課題となっています。

遊雪隊は、隊員の募集を随時行っているそうなので、皆さんも参加してみたいかがでしょうか。問い合わせ

遊雪隊代表 星野正美

☎ 89-3089